自己評価表		評価項目 （評価値　適切:4～不適切:1）	評価	現状	学校関係者評価委員会における改善方策	評価の基準となる資料、データ等
(1) 教育理念・目標	1	理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	守破離を基本理念とし、医療人としての心構えを常に心がけている。		教育方針 寄附行為 学則
	2	学校における職業教育の特色は何か	4	就職先（接骨院・整形外科・介護支援専門員）と密接に結びついている		学則 学校案内 ホームページ
	3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	従来型の接骨院だけでなく、スポーツトレーナーとしての技術を身に付け、新しい柔道整復師を目指す。		学則 学校案内 ホームページ
	4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	教育目標、学年ごとの到達目標等を、学生生活の手引きや教育指導要領、学校ホームページ等に記載し、教職員や学生、保護者にも周知している。また、定期的に学園新聞も発行している。		ホームページ 校内掲示板 学園新聞
	5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	「スポーツ柔整学科」と銘打っているが、スポーツトレーナーとしてのカリキュラムが不足している。	柔道整復師養成校としての単位以外にスポーツトレーナーとしての単位を設ける。 スポーツトレーナー関連の資格を付与する。 日本赤十字社群馬支部等と連携し、災害救助とのボランティア活動にも力を入れる。	募集要項 学校案内 教育課程

自己評価表		評価項目 （評価値　適切:4～不適切:1）	評価	現状	学校関係者評価委員会における改善方策	評価の基準となる資料、データ等
(2) 学校運営	1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	中央カレッジグループ内では、月一回の運営責任者会議をはじめ、各会議、各委員会において運営方針の徹底を図っている。		寄附行為 理事会・評議員会 運営責任者会議 職員会議
	2	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	学校運営のための年度事業計画を策定し、運営方針、実行計画、組織図、職務分掌、計画及びスケジュールなどを明記している。 年度事業計画の進捗状況は、各種会議において確認している。 併せて、教職員一人ひとりが主体的に年度事業計画の目標達成に向け取組むことができるように、研修等において人材育成に力を入れ、教職員の共通理解を図っている。		事業計画書 寄附行為 理事会・評議員会 運営責任者会議 職員会議
	3	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	学校運営のための年度事業計画を作成し、学校経営・教育活動・就職支援において、組織目標を明確に定め、運営方針、実行方針、実行計画を定めている。 カレッジグループ内では、月一回の運営責任者会議をはじめ、各会議、各委員会において運営方針の徹底を図っている。		組織図 校務分掌表 起案書 職員会議
	4	人事、給与に関する制度は整備されているか	4	教職員の人事に関する規定は、就業規則及び給与規程等で定めている。人事考課は、教職員の自己評価と上司との面談等に基づく業績評価を実施して、人事上の処遇に反映している。		就業規則 給与規定 教職員採用規程

自己評価表		評価項目 （評価値　適切:4～不適切:1）	評価	現状	学校関係者評価委員会における改善方策	評価の基準となる資料、データ等
	5	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4	決定事項は、学内の各種会議や委員会において周知し、意思統一を図っている。各種会議や委員会は、主催者が目的を明確にして実施し、問題点を早期発見し、早期に対策が立てられるように対応している。 日常業務に関する意思決定については、業務の担当者が協議者及び決定権者へ、稟議の上、決定を受けている。	今後、カレッジグループではワークフローの効率化のため、サテライトオフィス・ワークフローでオンライン化を図る予定である。	組織図 校務分掌表 稟議書 物品購入依頼書
	6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	群馬県柔道整復師会に加盟しており、当該会則に規則に則っている。	中央カレッジグループとしてSDGs活動を行っており、その活動で地域に貢献できるようにする。	各種法令
	7	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	ホームページにより適切に情報公開している。		ホームページ
	8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2	学校経理、教職員管理、広報活動等に関する業務上のデータは、グループの基幹システムにより登録・管理しているが、学生管理に関しては、グループの基幹システムと連携されていない。	早期にグループの学生管理システムに統合する必要がある。グループの基幹システムが一新される予定でありその時にすべて統合する予定である。	導入されている情報システムの概要を示す資料

自己評価表		評価項目 （評価値　適切:4～不適切:1）	評価	現状	学校関係者評価委員会における改善方策	評価の基準となる資料、データ等
(3) 教育活動	1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	学科ごとに教育目標、学期・学年ごとの到達目標を設定している。	学科ごとに教育目標、学期・学年ごとの到達目標を設定するとともに、国家試験や資格検定試験の合格率、学外実習での学生評価、就職試験の合格率などの定量的な目標も明確に示し、「学生生活の手引き」に掲載し学生に周知すべきである。	教育課程編成委員会 学生生活の手引き 教職員採用規程
	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	4限目の放課後時間を作って補習・補講を行い、理解度を深める時間を確保している。		教育課程編成委員会 学則 年間計画表 時間割 講義要項
	3	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	スポーツトレーナーなどで活躍している実習先と提携し、臨床実習を行っている。		教育課程編成委員会 学則 年間計画表 時間割 講義要項
	4	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	臨床実習では、臨床実習施設の追加等を随時行い、カリキュラムに反映している。		教育課程編成委員会 学則 年間計画表 時間割 講義要項
	5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	柔道整復師養成施設指定規則により、明確に定められている。		教育課程編成委員会 学則 年間計画表 時間割 講義要項
	6	授業評価の実施・評価体制はあるか	2	学生に対するアンケートによる授業評価を行っているが、結果の分析等利用されていない。	結果は、分析を行い、講師会議でフィードバックを行い、改善事例の共有化を図り、授業改善に取組むべきである。	授業アンケート集計表

自己評価表		評価項目 （評価値　適切:4～不適切:1）	評価	現状	学校関係者評価委員会における改善方策	評価の基準となる資料、データ等
	7	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	柔道整復教育評価機構による第三書評価の第1次評価を実施した。これは、厚生労働省が定める柔道整復師学校養成施設指定規則、指導ガイドライン並びに専修学校設置基準の遵守状況を、書類審査、訪問及びヒアリングによる審査によって評価するものである。なお、第1次評価を受審した旨の報告書が柔道整復教育評価機構から全国の高等学校あてに郵送にて送付された。		学校関係者評価委員会 柔道整復教育評価機構による評価報告
	8	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	成績評価・単位認定基準は、学則、成績評価基準等によって定め、「学生生活のしおり」に掲載し、学生に周知徹底している。		学生生活の手引き 学則 成績評価基準 職員会議
	9	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	4限目の放課後時間を作って補習・補講を行い、理解度を深める時間を確保している。		講義要項 年間計画表
	10	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	柔道整復師養成施設指定規則に基づき、厚生労働大臣の指定した教員講習会を修了した者を専任教員として確保しているが、規則上の最低限の人数である。	専任教員を補充し、教員の充実化を図る。	学則 柔道整復師学校養成施設指定規則
	11	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	就職ガイダンスを実施（年2回）し、企業と学生のマッチングを図っている。		教育課程編成委員会
	12	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	全国柔道整復学校協会教員研修（今回は諸事情により不参加）、柔道整復接骨医学会研修への参加、および講師会（年1回）の実施を行っている。		教育研修規程
	13	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	全体教員研修（8月）、年末発表会（12月）		教育研修規程

自己評価表		評価項目 （評価値　適切:4～不適切:1）	評価	現状	学校関係者評価委員会における改善方策	評価の基準となる資料、データ等
(4) 学修成果	1	就職率の向上が図られているか	4	学内で就職ガイダンスを年2回（県内企業・県外企業）を行い、学生の就職支援を行っている。求人は年間150社を超え、資格を取得したものは、ほぼ全員希望する職についている。 最近の傾向として、さらにスキルアップするため鍼灸、トレーナー等の専門学校に進学する学生もいる。		就職活動報告書 就職先一覧
	2	資格取得率の向上が図られているか	2	柔道整復師国家試験の取得率は100％を目標にしているが、ここ数年全国平均を下回る状態が続いている。令和4年3月の国試では3年生17名が全員受験したが6名の合格（35.3％）にとどまり、新卒の全国平均81.0％を大きく下回る結果となった。（当該年度の国家試験は他校による国試問題漏洩事件等もあり、全国平均の合格率については、疑わしい部分もあり、単純には比較できない。）	学内に資格検定委員会を組織し、過去問題や受験結果データの蓄積・解析を継続して行い、取得率向上に努める。	資格試験結果報告書 資格試験取得率の履歴
	3	退学率の低減が図られているか	4	令和4年度の中途退学率の目標は5％以内としている。中途退学防止の基本的な対策としては、退学の兆候である欠席状況等の把握、学習面でのサポート、心理面での相談、環境の整備、保護者との連携に取組んでいる。本年度途中より、外部カウンセラーによる学生相談も実施している。 令和4年度は、現在のところ中途退学者はゼロである。		退学防止の取り組み記録 退学状況の分析と対策記録 事業計画書
	4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	開業している卒業生の接骨院に随時訪問して現況を把握している。		同窓会会則
	5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	様々なスキルを身に付けて地域に貢献している卒業生の様子を学校案内やホームページ等で紹介し、柔道整復師の様々な可能性を学生に伝えている。		卒業生調査 企業アンケート 企業等訪問記録 同窓会ホームページ 学校案内

自己評価表		評価項目 （評価値　適切:4～不適切:1）	評価	現状	学校関係者評価委員会における改善方策	評価の基準となる資料、データ等
(5) 学生支援	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	就職担当を設け、学生からの求人相談に応じている。また、就職ガイダンスを実施し、企業の方々から学生に直接話が聞ける機会を設けている。		求人票集計 就職ガイダンス
	2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	本年度途中より、外部カウンセラーによる学生相談を実施している。		生活安全センター 学生生活の手引き
	3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	一人暮らしサポートシステム、学割、日本学生支援機構奨学金、その他奨学金の紹介を行っている。		募集要項
	4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	学校保健法による健康診断を行っている。毎日の健康管理は担任が状況を把握している。 附属接骨院を応急手当の場として利用している。		生活安全センター
	5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	今年度は学校行事（合同学園祭や80周年記念事業の尾瀬ハイキング）が開催され、コロナの影響は最小限で済んだ。		
	6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	生活安全センターを設置しており、交通事故、麻薬、その他の生活上のトラブルに対応している。なお、本年度より外部カウンセラーによる学生教育相談も実施している。 一人暮らし応援プログラムや通学定期サポートプログラムによる支援を行っている。		一人暮らし応援プログラム 通学定期サポートプログラム 生活安全センター
	7	保護者と適切に連携しているか	3	担任と適宜連携している 各学期（前・後期）ごとに保護者に学業成績を送付している。		保護者面談記録
	8	卒業生への支援体制はあるか	4	国家試験取得のため講習、模擬試験の実施 就職（再就職）支援制度		国家試験対策計画 試験対策実施記録 就職活動実施記録 校務分掌表
	9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	スポーツジムを併設し、トレーナー志望の学生に対応している。 今年度、大型液晶モニターを2機増設し、全教室に配置した。動画等の授業にも対応している。		パンフレット ホームページ
	10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	毎年、樹徳高校で高等学校連携授業を行っている。		年間計画表

自己評価表		評価項目 （評価値　適切:4～不適切:1）	評価	現状	学校関係者評価委員会における改善方策	評価の基準となる資料、データ等
(6) 教育環境	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	施設・設備等は、専修学校設置基準及び柔道整復師養成施設指定規則等の関係法令に基づき完備している。 実習室の器具・機材については、現場と同じ環境が提供できるように整備している。 図書室は、専門書・雑誌を整備し、貸し出しも可能である。なお、図書室は自習室も兼ねており、パソコンの利用も可能である。 また、トレーニングジムも併設しており、スポーツトレーナー志望の学生にも対応できるようにしている。		学校設置認可申請書 教室配置図 時間割 専修学校報告書 柔道整復師養成施設指導ガイドライン
	2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	今年度、臨床実習施設を1施設追加し、昨年までの5施設から6施設となった。	来年度も引き続き、臨床実習施設を追加していく予定である。	臨床実習ガイドライン
	3	防災に対する体制は整備されているか	3	防災・安全管理では、消防計画を策定、所轄消防署に届け出を行っている。また、消防計画に基づき、各階に責任者を置き、管理体制を整えている。 消防計画に教職員の自衛消防の組織及び任務分担体制を整えているが、消防避難訓練が未実施である。 教室内等の備品等には、転倒防止を講じ、教職員・学生には、室内の整理整頓とあわせてロッカーや棚などの上に物を置かないように周知徹底している。 各実習室には管理責任者を置き、実験・実習で使用する材料等については、責任者を指定して管理している。 臨床実習においては、担当教員が指導マニュアルに基づいて対応にあたり、実習前指導や事前オリエンテーションにおいても、安全に対する指導を行い、実習期間中も実習担当者が実習先を訪問し、状況確認を行っている。 学校内の防犯対策としてALSOKにて遠隔警備を行っている。	防火管理者の選出を行い、消防避難訓練を実施する。	消防計画 学校防災マニュアル

自己評価表		評価項目 （評価値　適切:4～不適切:1）	評価	現状	学校関係者評価委員会における改善方策	評価の基準となる資料、データ等
(7) 学生の受入れ募集	1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	学生募集の担当教職員は、高等学校における進学説明会に参加して、本校の教育活動、育成人材に関する職種や関連業界の動向に関する情報提供を行っている。高等学校訪問時には、当該高等学校からのオープンキャンパス参加状況、在校生の状況などについての情報提供を行っている。入学試験選考区分や学費等は、募集要項において明確に定めている。学生募集の開始時期などは、群馬県専修学校各種学校連合会が定めた自主規制ルールを遵守している。		ガイダンス 高校訪問 OC ホームページ 学校案内 募集要項
	2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	入学選考は、入試区分、試験日程、スケジュールなど募集要項で示している。入学選考は、学則及び入学試験に関する規程に基づき行い、合否の判定は、入試判定会議において合否基準に沿って適正かつ公平に決定している。		学校案内 ホームページ
	3	学納金は妥当なものとなっているか	4	学納金は、人件費、実習費、施設管理経費等、収支計画など勘案して算定している。 来年度より入学金を50万円から20万円に引き下げる。また、経費の上昇より授業料等を引き上げ、トータルで今年度まで431万円であったが来年度から422万円となる。 入学金・授業料・実習費・設備費について、募集要項や学校ホームページに掲載しており、また、詳細な学納金の内訳は前年度の実績に基づいてオープンキャンパス等でも説明している。 入学辞退者に対する学納金の返還は、文部科学省通知の趣旨に基づいて、学則に取扱いを明記している。		募集要項
(8) 財務	1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	本校は、中央カレッジグループの傘下となり、在籍者がここ2年間30名を越え、定員充足率は上昇しているため、収支状況は改善傾向となっている。		財務関係書類
	2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	予算の編成及び執行管理に関して、法人にて経理規則及び予算管理規則が整備されている。		財務関係書類

自己評価表		評価項目 （評価値　適切:4～不適切:1）	評価	現状	学校関係者評価委員会における改善方策	評価の基準となる資料、データ等
	3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	寄附行為に基づく監事監査を実施している。監事監査に加えて、私立学校振興助成法に基づく監査法人の監査を実施している。		監査報告書
	4	財務情報公開の体制整備はできているか	2	中央ガレッジグループの傘下になってからは、財務情報は公開していない。	中央カレッジグループホームページに公開する。その上で本校ホームページからリンクさせる。	ホームページ
(9) 法令等の遵守	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	文部科学省への実態報告や厚生労働省への学校養成所施設認定規則に基づく報告を行っており、適正に運営している。		学校教育法 専修学校設置基準 柔道整復師学校養成施設指定規則 柔道整復師養成施設指導ガイドライン 学則
	2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	中央ガレッジグループとして個人情報の取扱いを募集要項等に掲載している。また、個人情報相談窓口を設け、対応に当たっている。		個人情報保護法 募集要項
	3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	今年度は、主に①設備（大型液晶モニター）の増設、②就職ガイダンスの実施③第三者評価の実施が実現できた。		自己点検・評価表 学校関係者会議 組織図 校務分掌表
	4	自己評価結果を公開しているか	4	ホームページにより公開している。		ホームページ 自己点検・評価報告書
(10) 社会貢献・地域貢献	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	附属接骨院をリニューアルし、本格的に稼働させた。		年間計画表
	2	生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	中学、高校、大学のスポーツ大会等での救護活動を実施している。		年間計画表
	3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	専門実践教育訓練の指定講座として社会人の受け入れを行っている。		